HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	学術成果のオープンアクセスとHUSCAP ： 世界へ伝える・未来へつなぐ
Relation	学術成果のオープンアクセスとHUSCAP ： 世界へ伝える・未来へつなぐ (Open Access and HUSCAP ： Provision to the World, Passage to Future Generations). 北海道大学附属図書館 本館 正面玄関ホール（展示）. 2013年10月21日（月）～11月4日（月・祝）. 札幌市.
Issue Date	2013-10-21
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/57903
Type	lecture
File Information	OpenAccessWeek_01.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

OPEN International ACCESS WEEK

北海道大学 サステナビリティ ウィーク 2013 Hokkaido University Sustainability Weeks 2013

学術成果のオープンアクセスと HUSCAP

世界へ伝える・未来へつなぐ

オープンアクセスとは？
障壁のない学術成果へ

オープンアクセスとは、学術雑誌論文やその他の学術成果を、インターネットを通じて経済的、法的、技術的な障壁なく利用できるようにすることと定義されています。

背景には、学術雑誌価格の高騰や出版社への著作権委譲（論文の著者は著作権を委譲するため、再利用するために出版社の許可が必要）といった問題があります。

その定義は、BOAI（ブダペスト・オープンアクセス・イニシアチブ）で2002年に明確化されました。2012年には新たにBOAI 10が発表されています。

オープンアクセスで なにが起こるか？

大学や研究機関に属さない人々、一般市民が学術情報を入手する機会を得ることが期待されます。一方、大学の研究者からは、障壁の影響を受けることなく、多くの研究者に情報を発信することができるようになります。

高校生がすい臓がんの検査法を発見

アメリカの高校生ジャック・アンドラカ君がすい臓がんの検査法を発見した背景に、オープンアクセスがあります。米国国立衛生学研究所のアーカイブPMC（PubMed Central）でオープンアクセスになった論文を活用し、このような成果を上げたそうです。

“Open Access Empowers 16-year-old Jack Andraka to Create Breakthrough Cancer Diagnostic”. Right to Research Coalition. 2013-06-11. http://www.righttoresearch.org/blog/open-access-empowers-16-year-old-to-create-breakth.shtml, (accessed 2013 -10-10).

オープンアクセスのふたつの道
セルフ・アーカイブとオープンアクセスジャーナル

セルフ・アーカイブとは？

BOAIの提唱するオープンアクセス実現手段のひとつで、著者が研究機関・教育機関の電子アーカイブに論文を登録し、オンラインで公開することです。セルフ・アーカイブとも呼ばれます。

低コストで実現できることが期待されていますが、登録率の伸び悩みという課題があります。

北海道大学附属図書館では、セルフ・アーカイブを進めるため、**HUSCAP**を運営しています。

オープンアクセスジャーナルとは？

もう一つの方法は購読料に拠らない雑誌、オープンアクセス・ジャーナルの発行です。その出版コストは多くの場合、著者の投稿料によりまかなわれています。

多くの雑誌がクリエイティブコモンズ・ライセンスを採用し、再利用しやすい仕組みを取り入れています。

OPEN International ACCESS WEEK

北海道大学 サステナビリティウィーク 2013 Hokkaido University Sustainability Weeks 2013

学術成果のオープンアクセスと HUSCAP

世界へ伝える・未来へつなぐ

HUSCAP
北海道大学学術成果コレクション

北海道大学に所属する研究者の皆さまの研究成果の電子ファイルをご提供いただき、図書館資料として大切に保存するとともに、ウェブで本文を無料公開して論文等の可視性を高めるお手伝いをするものです。

HUSCAP http://eprints.lib.hokudai.ac.jp

HUSCAPのねらい

HUSCAPのねらい

1. 研究成果を大切に保管し、後世へ継承します。
2. オープンアクセス化により、より多くの読者に研究成果を届けることができます。

また、

- 研究成果の社会還元
- 教育・研究資源の共有化
- 大学法人としての本学のアカウンタビリティの向上
- 学術情報流通のオープン化

の実現に寄与できるものと考えています。

著作文献をHUSCAPで公開するには

まず、メールで論文をお知らせください

HUSCAPに登録したい論文等のファイル（PDF, Word等）をEメールでお送りください。

附属図書館では、出版社の版権上のポリシーを確認し、問題がない形で**HUSCAP**に登録・公開します。

ご寄贈いただいた文献が何回ダウンロードされたか、毎月メールでお知らせしています。

（詳しくはチラシをご覧ください）

HUSCAPと著作権

ジャーナルに掲載された論文の多くは出版社に著作権が委譲されていますが、例えば海外では大手出版社を含む9割の主要ジャーナルが、掲載論文を**HUSCAP**のような電子コレクションで公開することを認めています。また、出版社の方針が不明な場合は図書館が問合せ、了解を得た上で公開しています。

共著者がいる場合は、**HUSCAP**での公開について問題が生じないよう、あらかじめ調整をお願いします。